

もっと もっと あーとの時間

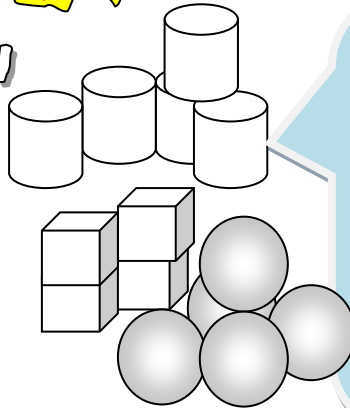
造形遊び

…なかなか準備も大がかりで大変だし、評価もどうしていいかわからない…などハードルの高い領域ですね。造形遊びをする中で子ども達は考えます。工夫しながら、つくり、つくり変えていく子どもの学びの姿や過程を評価します。(ここから、平面の表現にいくこともできます。) 教師も一緒に楽しむつもりでぜひトライしてみてください。造形遊びは子どもを変えます!!

雪の造形遊び!



その1 型抜きパラダイス



プリンカップやバケツ、いろんな物で型抜きをしてどんどんいろんな方法(高く、壁のように、長くなど)を試して積み上げてみよう!! 球体(雪玉製造器を持っている子もいます)、サイコロ…何でも楽しい!!

その2 雪の表情



高学年に向いているかも知れませんが、枝の上や瓦の上、ひよんな所に積もった雪の美しさに驚くことがありますね。(特に降り始め) 見つけた自然の造形美などを、グループで一人1枚ずつデジカメで写真を撮ってきて、テレビに映したりグループで撮った写真を色画用紙などに貼り合わせて鑑賞したりすると楽しいです。先日は車のフロントガラスに積もった雪がロール状になっていて見つけた子ども達はとても喜んでいました。

その3 どんな感じに積もるか?



雪が降っているときに(降りそうなとき)いろいろな物(石、ざる、ボール、棒など何でも…)を並べておくと、積もった雪の形が楽しいです。また、いろんなものを組み合わせておいても楽しめます。くぼみも逆に楽しめます。高学年においては何かをイメージして置いておくのもよいです。多少の企画性があるといいのです。